

基礎スペイン語Ⅳ

科目ナンバリング SPA-104

必修 1単位

江原 裕美

1. 授業の概要(ねらい)

スペイン語はスペイン並びに中南米の多くの国で通用し、近年はアメリカ合衆国の中でも多く用いられている。この言語の魅力を知り、その文化の一端に触れることは、私たちの世界観を広げてくれる。この授業では、スペイン語のアルファベットから始まり、複雑な文法知識もわかりやすく一つ一つ丁寧に進めつつ、折に触れて出来事や文化も紹介してみたい。スペイン語文化圏への第一歩を踏み出す一助としてほしい。

なお、後期は基礎スペイン語IIと基礎スペイン語IVがそれぞれ週1回ずつ開講されるが、内容は連続している。すなわち週2回でワンセットになっているので注意すること。遅刻欠席しないこと、授業に集中することがもっとも重要である。

2. 授業の到達目標

日常最低限の必要性を満たすことができる力を獲得することを目指す。具体的には以下のような目標を達成する。①スペイン語の文法的基礎を身につける、②スペイン語の簡単な文を音読でき、意味を理解する、③自分と家族、日常生活などを他者に紹介でき、簡単な手紙やメールを書ける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への参加、提出物等)で30%、試験で70%。第1回目の授業は必ず出席すること。

授業の完全な受講を最優先し、欠席遅刻しないこと。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

欠席数と遅刻換算数の合計欠席数が授業時数の3分の1を超えた場合テストを受験できない。授業時は教科書、辞書を持っていること。

基礎スペイン語IIとIVは連続した科目なので両科目を通じて全体的に評価する。両科目を通じての中間テストと期末テストを1回ずつ行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

スペイン語教材研究会 『Entre amigos 1(総合スペイン語コース 初級)』 朝日出版社

スペイン語教材研究会 『Entre amigos 2(総合スペイン語コース 中級)』 朝日出版社

参考文献

現代スペイン語辞典 白水社

クラウン西和辞典 三省堂

和西辞典 白水社

5. 準備学修の内容

授業前には例文のわからない単語を辞書で引いて調べ、音読をしてみる。授業後は学習したところを20回音読して暗記に努めること。

秋期の途中で新教科書に切り替わるので秋期初めに新教科書を購入しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

どの形態であれ、全授業の受講が最優先である。力をつけるためには毎回の授業の予習復習と暗記を欠かさずしてほしい。評価のためのテストはII,IVを通じて2回。両科目を通じての中間テストと期末テストを1回ずつ行う。課題提出や小テストは随時実施する。

7. 授業内容

【第1回】 LMSによる授業、授業の進め方、テキスト、評価方法など。前期の復習。

【第2回】 時間 語幹母音変化動詞II 再帰動詞 直接目的人称代名詞

【第3回】 動詞Gustar Gustar型動詞

【第4回】 動詞Dolerの用法 ser, estar, tener que, hay que, などの表現

【第5回】 点過去 規則活用と不規則活用 ser, ir, dar

【第6回】 LMSによる授業、トビックス 言語について 点過去復習 線過去の導入

【第7回】 中間テスト 不定形(不定詞、過去分詞、現在分詞) 進行形 現在完了 命令形

【第8回】 不定形のその他の用法 現在完了の復習

【第9回】 未来形の導入 命令形の復習

【第10回】 点過去、線過去などの復習

【第11回】 新教科書 直説法現在、目的人称代名詞などの復習

【第12回】 線過去の用法 点過去と線過去 いろいろな副詞節

【第13回】 直説法未来の活用 直説法未来完了 直説法過去未来

【第14回】 文法事項重要ポイントの復習 命令形の導入

【第15回】 期末テスト 復習とまとめ